

新教出版社 新刊案内 2025年3月24日発売

# 非戦と抵抗の教育

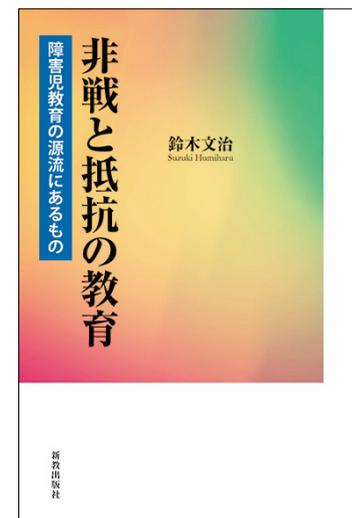
障害児教育の源流にあるもの

鈴木文治 [著]

社会的有用性で人間の価値を計る——  
そんな時代に抗して、  
いま教育は何をなすべきか？

日本が富国強兵に邁進し、「お国のためになる」人間の育成に注力していた時代から、子どもの自由と個性を尊重し、とりわけ障害児の教育を志す少数のキリスト者の教師たちがいた。本書はその系譜を辿り直し、著者自らの教師としての経験を踏まえ、社会と国の在り方、教育の在り方に、根本的な問い直しを迫る。

【著者】 すぎき・ふみはる氏は1948年長野県飯田市生まれ。中央大学法学部法律学科及び立教大学文学部キリスト教学科卒業。川崎市立中学校教諭、神奈川県教育委員会、神奈川県立盲学校長・県立養護学校長、田園調布学園大学教授、日本基督教団桜本教会牧師、等を歴任。著書に、『インクルージョンをめざす教育』『排除する学校』『人を分けることの不条理』（以上明石書店）、『ホームレス障害者』『閉め出さない学校』（以上日本評論社）、『インクルーシブ神学への道』新教出版社、『肢体不自由児者の合理的配慮に基づくインクルーシブ教育ってどんなこと』（全国心身障害児福祉財団）、『障害を抱きしめて』『なぜ悲劇は起こり続けるのか』（ブネウマ舎）、『差別する宗教』（現代書館）などがある。



四六判・並製・229頁・本体2100円（税込定価2310円）  
ISBN 978-4-400-21344-4 C1037

## 【目次より】

- 第1章 国家主義教育と闘った障害児教育の黎明
- 第2章 自由民権運動と盲学校の誕生
- 第3章 戦前・戦時下の教育
- 第4章 教育の戦争責任
- 第5章 抵抗の障害児教育
- 第6章 非戦の障害児教育